

2018 年度事業報告書要旨

2018 年度は、中期事業計画（2018－2020 年度）の初年度として、公益法人としての役割を果たすため既存業務を確実に実行するとともに、事業基盤の強化と拡大に向けて各種の取り組みを進めた。

放射線源では新製品開発を行うとともに、現用されている海外製放射線源の品質向上や調達コスト削減に取り組んだ。放射性試薬では、新たな短半減期核種の頒布を開始した。放射性医薬品では、新規国内導入に向けた調査検討を進めた。

部会活動では、各種取扱い手引きや法令改正解説等の、アイソトープ・放射線の利用に関する最新情報の提供を進めた。

各種業務において、ウェブサイトを通じたサービス提供の拡大により、利用者の利便性向上を図った。